

縄文人とおとし穴 きりがおか - 緑区霧ヶ丘遺跡の発掘 -

1970・71年に発掘された霧ヶ丘遺跡からは、台地の上や尾根筋を沿うように120基をこえる土坑どこうがみつかりました。霧ヶ丘遺跡では、これらの土坑を縄文時代の「おとし穴」として調査し、構造や地形との関わりについて研究された先がけとして知られています。

このたび霧ヶ丘遺跡から発見された資料が、主導的に発掘調査をおこない保管してきた武蔵野美術大学より横浜市へと移管されました。

また、霧ヶ丘遺跡が所在する横浜市緑区は、2019年10月に区制50周年を迎えることから、これを記念した企画展示と関連講演会を開催します。

■ 企画展示

会場：長津田地区センター

[長津田駅 (JR・東急) から徒歩7分]

期間：令和元年8月1日(木)～9月29日(日)

[休館日]8月13日(火)・9月9日(月)

観覧料：無料



画
諸川摩美

■ 関連講演会「縄文人とおとし穴 - 緑区霧ヶ丘遺跡の発掘 -」

日時：令和元年9月14日(土) 13:30～14:30 (13:00開場)

会場：長津田地区センター 中会議室

講師：平山尚言 (公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター)

定員：50名 (応募者多数の場合抽選)

資料代：500円

申込方法

- ：往復はがきに、「横浜の遺跡展関連講演会」・住所・氏名 (ふりがな)
- ・電話番号を記入の上、埋蔵文化財センターへお送りください。

※ 切：令和元年8月28日(水)必着

申込先・お問い合わせ

：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1 TEL.045-890-1155